

泉州電業株式会社

2025年10月期 決算説明会 Q&A

[日時] 2025年12月10日(水) 10:30-11:30

[場所] 東京都中央区日本橋室町2-2-1 岡三証券(株)室町本店 14階セミナールーム

- Q1. 現在、全国で非常に蓄電池に対する投資計画が進んでいますが、中国メーカー製等はその（電力）系統と繋ぐにあたり、電気工事が発生すると思います。御社の将来的な業績に何らかの影響が出てくるのか出ないのか、お聞かせいただけますでしょうか。
- A1. 太陽光に付随する蓄電池は、我々の周りでも増えてきておりますが、現状で足元のビジネスとしてはまだそれほど大きくはありません。蓄電池ビジネスを確立するのに非常に色々なハードルがございまして、中心になっているのは系統蓄電池という形です。我々がお付き合いしている技術会社の方々から聞く話では、まだまだ思ったほどの需要が伸びておらず、必然的に関連する工事も我々の仕事に繋がっていないというのが、実情でございます。
- Q2. アルミ電線について、銅の価格がこれだけ上がってくると、長期的に見て、銅がアルミ電線に置き換えられるリスクについては、どのようにお考えでしょうか。
- A2. 銅とアルミ電線の普及は非常に密接になっております。現在我々は銅からアルミへの展開について、仕入先メーカーと一緒にお客さんに提案している状況です。なぜかという、我々がやらなければ外国メーカー、主に中国メーカーが非常に積極的に、特に先ほどおっしゃられた蓄電池ビジネスでPRされています。まだ建物等について海外メーカー製はまだ使われていないですが、我々は日本のメーカーと一緒にアルミのマーケットを作っていこうとしています。アルミと銅電線では、使われる工具並びに切断機等まだ十分装備されていないこともあり、我々のJUST_IN_TIME体制物流倉庫体制についても業界内で議論しているところでございます。
- Q3. フィジカルAIの観点について、今、ロボットメーカーとAI企業の協力等が進んでいると思いますが、御社の扱っている製品の業界においては、AIとどのようなトレンドの変化が見られるか、合わせてどのようなインパクトがあるのでしょうか。
- A3. 先週、東京ビッグサイトで国際ロボットショーがありまして、我々も出展し、AIを絡めた商材の提案があったようです。ヒューマノイドロボットやいわゆる協働型ロボットのように人間に近い作業をするものに変わる中で、AIの装備は進んでいくのではないかと考えています。我々のメリットとしましては、フィジカルAIといった流れの中で、工場そのものがより省力化、無人化となり、システムインテグレーター等全体の仕事を取っていくのがこれからの課題であり、これが取れた場合、非常に大きなマーケットになるのではと考えております。

以上

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

将来の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることに留意下さい。本資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さい。

万が一この情報にもとづいて被ったいかなる損害について、弊社及び情報提供者は一切責任を負いません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

尚、情報は常に最新情報を反映しているものではないことをご承知おき下さい。